



いよいよ確定申告です。早めに取り組みましょう！

「やめよう 水道民営化」  
「命の水は市民の財産」  
「水は人権 勝手に売るな」  
「命の水は市民で守ろう」



## 自分たちの水道は自分たちで守る！

1月13日に、安倍政権推進で、浜松市で進められている水道民営化をストップさせようとして、「命の水を守る全国のつどい・浜松」が行われ、全国各地から約600人が参加しました。東支部の天沼えり子さんが、実行委員長とパネルディスカッションのコーディネーターの大役を務めました。

また、集会に先立ち、浜松駅前から会場までデモ行進をし、200人が参加。参加者はギターや太鼓、ラップのコールにあわせて市民に訴えました。つどいでは、まず現在の民営化の動きについての報告がされました。

## 水は誰のもの？

昨年12月に水道法が改悪され、水が優良な投資の商品とされ、利権の対象になりました。

世界各地では民営化により、企業利益が優先、経営が不透明、料金の値上げ、水質悪化など、様々な問題がおき、そのため「水は人権！水はみんなのもの！」と市民の声があが象にするな！」と市民の声があがり、再公営化が進みました。水の権利を守る運動は、国連での「安全な飲料水と衛生に対する人権」に関する決議につながりました。

にもかかわらず、日本政府は、水道法を改悪し、浜松市は水道の民営化・コンセッション導入を進めようとしています。

市は昨年4月に西遠浄化センターで日本初下水道コンセッションを始めました。上水道でも導入の可否を今年度末までに結論を出すつもりです（後に、結論は先送りになりました）。これに対し、市民から反対の声があがると、完全民営化ではなく「運営委託方式」である、競争性は担保されるなどごまかしの宣伝をし、推進側が作成した調査報告を利用し、市が運営会社を統制できるかのように語っています。

## 誰のためのコンセッション

民営化すれば、水道職員は150人台から30人台になり、現場管理力が失われ、災害時の対応はできません。運営会社の子会社、関連会社に仕事が流れ、民間業者の受注は減少し、地元業者・地域経済に大打撃です。また、企業秘密を盾に、情報開示は限られたものになり、市民が監視出来にくくなります。

水道民営化が進められている理由は、上下水道のインフラなど、長期の経営権を得て、投資し、莫大な利益をあげようとする集団がいるからです。市民の水を守るためのコンセッションではないのです。

## 導入ありき？

コンセッション導入についての議事録では、2022年度に開始し、大原浄水場の改築を含め、25年間とすることを「合意した」と発言しています。また、様々な手法があるなかで、最善の選択であること、事業期間及び範囲拡大を加味した上でも「コンセッション方式が望ましいこと」を示してほしい」と指示しています。結論ありきの報告書が作成されたのです。浜松市は市民をあざむいてきたのです。

## 水の消費者で終わってはいけない

パネル討論では、様々な問題点について言及。また市民参加の事例などを紹介してくれました。

- 株人参加型。労働者を雇用し、水道事業を営む。労働者の権利が保障され、市民が株主として参加できる。
- 西尾市：公共施設の市民が運営する。市民が水道事業の運営主体となる。
- 矢巾町：「水道サポーター」を設立。水道の維持管理に市民が参加し、水道事業の持続性を高める。

また、全国各地の水を守る活動や、浜松市の水道民営化を考える市民ネットワークの活動報告、落合勝二市議(日本共産党)らの情勢報告などがありました。

今回の集会は、水道法改悪後の最初の全国集会であり、水道民営化を阻止する意思を示した意義のある集会となりました。また、浜松の事例を分析し、水道民営化の問題点をより明らかにしました。今後、更に多くの人々に問題点を伝え、広範な結集を作っていくことが求められます。

水は、蛇口をひねれば出るのが当たり前でした。しかし、これからは、水道事業に市民が参加し、一緒に考えていくことが重要になります。人任せにせず、自分たちの水は自分たちで守ることが大切です！

2月4日付商工新聞に、記事が掲載される予定です。





12月24日に、消費税増税を中止させようと、署名宣伝行動をしました。祝日のこの日は、家族連れなど、多くの人が行き交っていました。また、クリスマスイブということもあり、サンタの帽子をかぶって宣伝しました。今回も、多くの人に消費税について考えてもらうきっかけになるよう、シール投票を行いました。1時間の行動で計59票の投票があり、その結果は↓

**増税賛成：6票(10.2%) 増税反対：51票(86.4%)**

どちらともいえない：2票(3.4%)



賛成にシールを貼った人で、どちらにしようか真剣に悩む人、「きちんと子育て世代に回してくれるなら」との条件付での賛成にシールを貼る人など、無条件で賛成という人は少ないようでした。



投票してくれた人からは、「税金を正しく使ってほしい」との声がとても多くありました。また、「増税は絶対反対！ 全ての理由にシールを貼りたいくらい！」と言う人や、署名をしてくれたあと、「寒い中だけど頑張っ！」と暖かい声をかけてくれる人もいました。悩みに悩んで、どちらでもないにシールを貼った青年にチラシを渡すと、食い入るように見っていました。



消費税増税は止められます。商売と生活を守るため、「増税NO！」の声を広げ、選挙や署名を通して、政府に突きつけましょう。

1月7日に呉竹壮で本部新年会を開催し、99名が参加しました。新年会では、昨年入会した会員さんの紹介もあり、新たな交流も生まれました。仲間を増やして中小業者の経営と暮らしを守るため、一緒に頑張ろうと心を一つにしました。



### 重税反対全国統一行動・浜松集会

今年も3月13日に、消費税増税・インボイス導入反対、大企業減税反対、雇用を増やし社会保障を充実させ国民本位の税制の制定等と呼びかけます。

民意なき政治が続き、権力により国民の権利が蹂躪されています。大勢の参加で中小業者の経営と国民の暮らしを守るために声を上げましょう。

**※寒さ対策・体調管理等をしてご参加下さい！**

場所：クリエート浜松 2階ホール

日時：3月13日(水)

昨年の様子↓



## 今後の予定

- 2 / 2(土) 無料法律相談日(要予約)
- 5(火) 対県交渉・県中小業者集会
- 6(水) 省庁交渉・全国中小業者大会
- 24(日) 消費税廃止各界連署署名行動

- 3 / 1(金) 3.1ビキニデー
- 2(土) 無料法律相談日(要予約)

**13(水) 重税反対全国統一行動浜松集会**

15(金) 確定申告提出期限日



※クリエート浜松を利用し、OGURIパーキング1又は2を利用の方は、1時間以上駐車し、1時間毎に100円のサービス券が発行されます。(最大400円)